

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／プロダクトデザイン専攻											
基礎デザイン実習A											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	堀越 拓水			実務 経験	有	職種	デザイナー				
担当教員紹介											
彫金家、ジュエリーデザイナー、ドイツ国立美術アカデミー卒業後、国内国外で作品発表、空間デザインやインテリアデザインも手掛ける。											
授業概要											
鉛筆デッサンに取り組むことでスケッチワークの基礎を学ぶ授業である。講師からのデモンストレーションから学びを深め、道具の使い方から描き方を段階的に学び、学生のプロダクトデザイン／インテリアデザインのスケッチ技術を育成する。この授業に主体的に参加する学生が技術力、表現力を向上し、自分自身で実践し活用するように目指す。											
到達目標											
この科目では、学生がプロダクトデザイン／インテリアデザインの基礎スケッチワークを学び、造形の理解力、表現力、コミュニケーション能力を理解し学ぶ事で、社会で活躍する為に必要な技術力と知識を向上させること、課題をこなす事で段階的に理解しスキルを向上してデザインスケッチワークが出来るようになる事を目標にする。											
授業方法											
1．個人ワーク、グループワーク、フィードバックの流れで進み、主体的に課題に取り組む姿勢、周囲との協働で成果を出す姿勢を習得します。 2．グループディスカッションで他者の意見を理解し、自分の意見を相手に伝えることを繰り返すことで、表現力やコミュニケーション力を培います。											
成績評価方法											
プレゼン： 20% 制作物の発表方法、内容について評価する 課題完成度：60% 提出課題完成度を総合的に評価する 平常点： 20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
授業中の私語や授業態度などは厳しく対応する、理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への意向を前提とした授業マナーで授業に参加することを求める。ただし授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目を合格することができない。											
教科書教材											
プリントなどは必要に応じて授業にて配布を行う参考書・参考資料等は授業中に指示をする。											
回数	授業計画										
第1回	授業オリエンテーション / 道具の説明、鉛筆の削り方、練り消しゴムの使い方、『手』のデッサン										
第2回	『手』のデッサン完成										
第3回	パース1 / 立方体を使い3点透視図法の説明										
第4回	『テッシュ箱』のデッサン（3点透視図法とパースの理解）										
第5回	『テッシュ箱』のデッサン（3点透視図法とパースの理解）										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科／プロダクトデザイン専攻	
基礎デザイン実習A	
第6回	『動物写真』のトレース（トレース作業をする事で正確な形の重要性和描写力、集中力、デッサンの表現力の向上。）
第7回	『動物写真』のトレース作業 / 動物のトレース作業を完成させる。
第8回	建物のデッサン（空間認識力とパースの理解）
第9回	建物のデッサン / デッサンを完成させる。（空間認識力とパースの理解）
第10回	『円柱』の描き方の説明（パース、卓上にある円柱の影の描き方の理解）
第11回	『缶』のデッサン（卓上にある缶の陰影と材質感、グラフィックの描き方の理解）
第12回	『缶』のデッサン（卓上にある缶の陰影と材質感、グラフィックの描き方の理解）
第13回	卓上デッサン（2点のプロダクト製品を描く。パース、材質、構図の理解）
第14回	卓上デッサン（2点のプロダクト製品を描き完成させる。材質感、陰影を意識する。）
第15回	『手のデッサン』を行い、技術上達の確認